

日本証券業協会 御中

～国連WFPの概要と活動のご紹介～



**World Food
Programme**

認定NPO法人国連WFP協会

国連WFP 組織概要

国連WFPは国連機関であるWFP 国連世界食糧計画と、それを支援する認定NPO法人である国連WFP協会という2つの団体の総称です。

WFP 国連世界食糧計画

- 本部: イタリア共和国 ローマ
- 代表: 事務局長 デイビッド・ビーズリー
- 使命:
 - ・飢餓の撲滅を使命に、緊急食料支援の実施
 - ・食料支援を通じた経済社会発展のサポート
 - ・物資の輸送体制の強化
- 概要:
 - ・国連唯一の食料支援機関
 - ・1961年設立決定 1963年活動開始
 - ・WFP職員およそ1万6千人のうち88%以上は、支援を実施している現地での活動に従事
- 実績(2018年実績)
 - ・活動資金75億1,379万米ドルのうち、日本政府による拠出金は1億3,000万米ドル(世界第10位の支援国)。
 - ・WFPの活動支援は全て各国政府からの任意拠出金、及び企業・個人・団体からの寄付によって賄われる。
 - ・83カ国において8,670万人に食料支援を実施。



協力関係

国連WFP協会

国連WFP協会は、世界の飢餓撲滅を使命とするWFP 国連世界食糧計画の理念と活動を日本において普及し、啓発することにより、日本社会から物心両面の貢献をすることを目的としている。

- 概要:
 - ・1999年1月設立
 - ・日本国内における民間協力の支援窓口
- 活動内容:
 - ・募金活動(ファンドレイジング)
 - ・団体の皆様との連携推進
 - ・広報活動
- 事務局:
 - 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
 - パシフィコ横浜6階
 - TEL:045-221-2515 FAX:045-221-2534
- 代表: 会長 安藤 宏基
(日清食品ホールディングス(株)代表取締役社長・CEO)

※国連WFP協会は、2005年8月に認定NPO法人の認可を取得し、ご寄付は寄付金控除の対象となります。



SDGs & 国連WFP

「持続可能な開発目標」 (Sustainable Development Goals, 略称SDGs)

2030年までに、17の目標を達成する、
と国連で2015年9月に採択。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



SDGs 第2目標:

「飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養改善を達成し、持続可能な農業を推進する」

国連WFPは、主に「飢餓ゼロ (Zero Hunger)」すなわち「飢餓のない世界」を目指し活動しています。



世界の食料廃棄量の実態

世界の生産量の3分の1にあたる、約13億トンの食料が毎年廃棄されている。



国連WFPの支援食料量

年間約**390万トン**

日本の食品ロス (食品由来の廃棄物等のうち可食部分と考えられる量)

年間約**643万トン**



世界の飢餓の実態

世界の総人口…約73億8,300万人

2015年推定人口

(出典: UN World Population Prospects2017)

- 世界には十分な食べ物がある。
- およそ8億2,100万人が飢餓に苦しんでいる。
- 世界の9人に1人は飢えている。

地域別にみると…

地 域	地域 総人口	飢餓人口	飢餓率
アジア	約45億2千万人	5億1,500万人	11.4%
アフリカ (Sub-Saharan Africa)	約9億8千万人	2億2,650万人	23.2%
ラテンアメリカとカリブ海諸国	約6億4千万人	3,900万人	6.1%

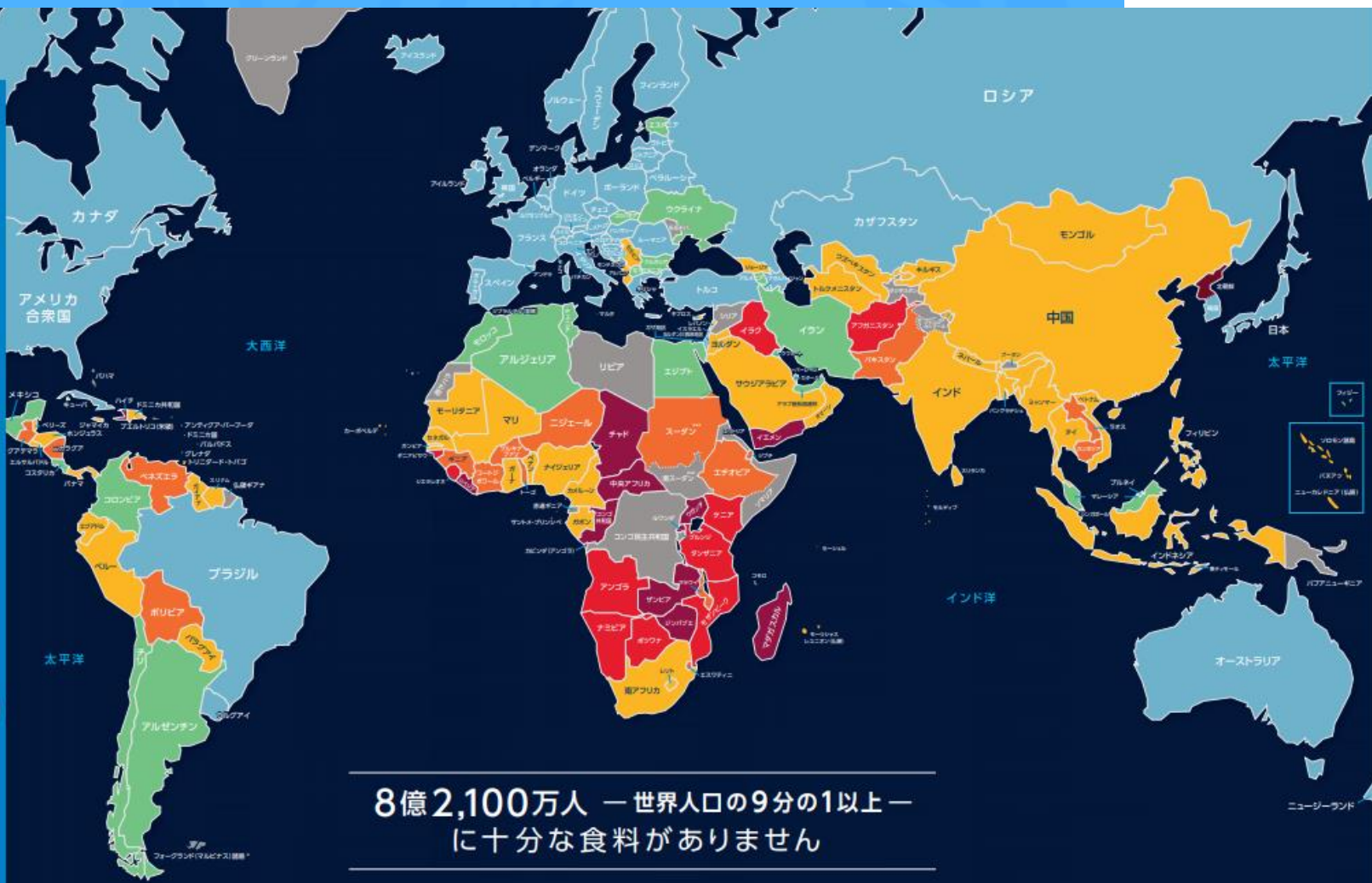


ハンガーマップ

SAVING LIVES
CHANGING LIVES

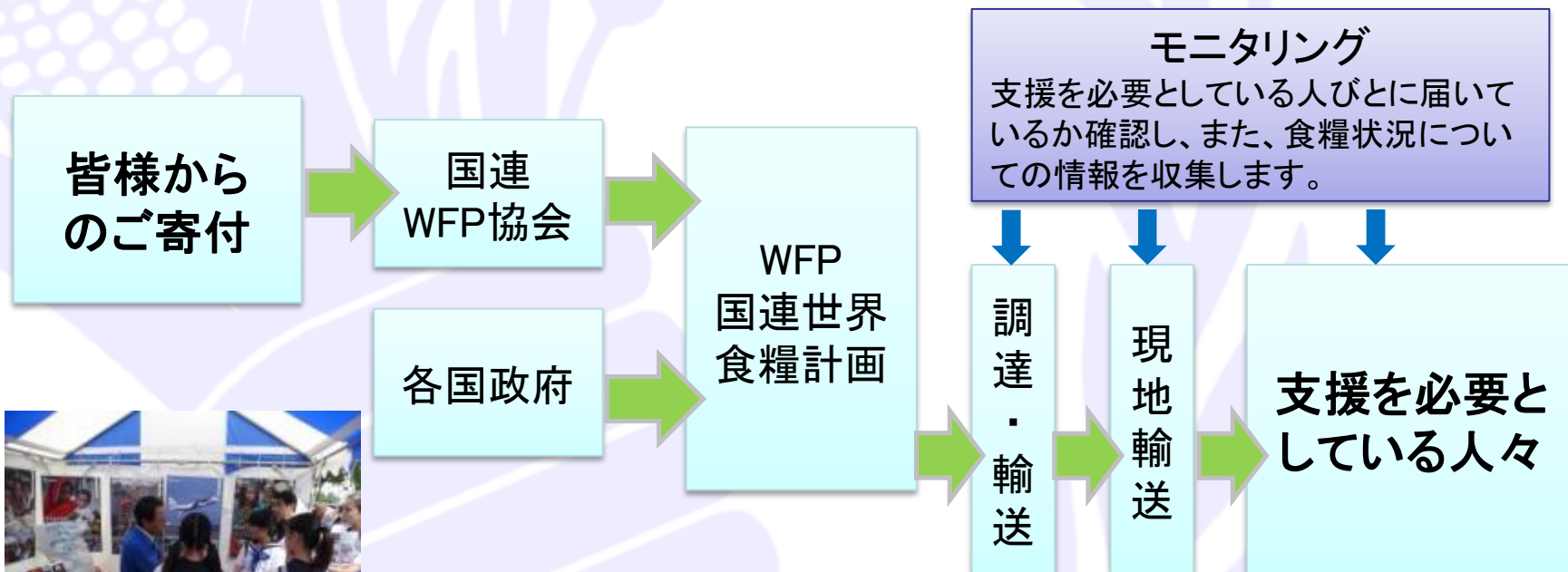
飢餓から救う。
未来を救う。

ハンガーマップ
2019



世界の飢餓状況を、栄養不足人口の割合により国ごとに5段階で色分けして表現した世界地図です。
飢餓人口の割合が最も高い濃い赤色に分類された国では、全人口の35%以上もの人びとが栄養不足の状態に陥っています。

ご寄付から食料支援までの流れ



国連WFPの活動 ～5つの柱～

学校給食支援



©Mayumi.Rui

途上国の子どもたちに無償で学校給食を提供。子どもたちの栄養状態を改善するだけでなく、教育の機会を広げ、未来を広げる大きな力となっています。

母子栄養支援



赤ちゃんや幼児、妊婦、授乳中の母親に栄養たっぷりの特別な食品を配布し、栄養状態を改善します。将来を担う子どもの発育を助け、未来の社会をも支えます。

自立支援



道路や井戸などの公共設備や、農地などを整備する際、働いた人に対し、報酬の代わりに食料を提供します。整備事業の間は食べ物の心配がなく、完了すると地域全体の暮らしがよくなります。

緊急支援



紛争や災害などの緊急事態が発生し、現地政府から支援の要請があると、国連WFPは直ちに職員を派遣。世界中どこへでも48時間以内に最初の食料を届けることを目指して活動し、その後迅速に支援を拡大します。

輸送・通信支援



人道支援における「通信・物流のリーダー」として、他の国連機関のみならずNGOの物資輸送も受託。毎日トラック5000台、飛行機70機、船20層が稼働、災害で交通が途絶した場合にもゾウやロバ等の動物の力も借りて救援物資を確実に届けています。



国連WFPの支援活動【学校給食支援】



学校に通うことすらできない子どもの数 **6,100万人**



国連WFPでは途上国の子どもたちに**無償で学校給食を提供**



- 世界中で1,640万人の子どもを支援。(2018年実績)
- 受益者のうち51%が女子生徒(2018年時点)

子ども1人につき1日およそ30円で栄養たっぷりの給食を届けることができます。

給食は彼らの命を繋ぐだけでなく、通学を可能にし、勉強の意欲を高め、夢を広げる大きな力になっています。



学校給食がもたらす効果

2 飢餓をゼロに



01

子どもたちの
栄養状態を改善する

国連WFPが提供する給食の内容は朝食もしくは昼食、または両方です。現地の食習慣に合わせて、子どもたちが必要な栄養を摂れるように計算されたメニューを提供しています。

4 質の高い教育をみんなに



02

学びの機会を
広げる

学校給食が無料で提供されれば、親は働かせるよりも通学させることを選ぶようになります。空腹が満たされることで勉強に集中でき、学習能力も向上します。

10 人や国の不平等をなくそう



03

生活を守る

災害や経済危機などの緊急事態が起きた際、貧しい家庭や親を亡くした子どもは生活がさらに苦しくなります。学校給食は家計を助け、暮らしを守る手段となります。

5 ジェンダー平等を実現しよう



04

女子就学率の促進

家事のために家に留め置かれがちな女兒も、持ち帰り給食によって親は登校させることに前向きになります。



©WFP/Hani Al-Homsh

1 貧困をなくそう



05

地域産業の振興

地域の農業や経済の振興につながるように、学校給食の食材を地元で調達する地産地消を推進しています。



©WFP/Badre_Bahaji

8 働きがいも経済成長も



06

食糧生産性の向上

学校給食の支援とともに農業技術などを伝えることで現地での食料の生産能力を高めます。



©WFP/Miguel Vargas

学校給食支援とSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



へのアプローチでの他のSDGsへ高い波及効果



給食は現地の食習慣に合わせて、子どもたちが必要な栄養を摂れるように計算されたメニューを提供しています。



教育を受け、国のリーダーになる女性も



学校給食が無料で提供されれば親は働かせるよりも通学させることを選ぶようになります。空腹が満たされることで勉強に集中でき学習能力も向上します。



家事のために家に留め置かれがちな女兒への「持ち帰り食料」により親は登校させることに前向きになります。



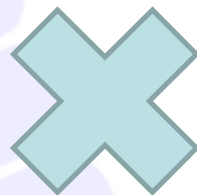
教育は国の安定と発展の礎

国連WFP、貴社、現地NGOなどの連携



日本証券業協会の会員企業の皆さまからのご寄付により

ご支援いただきました11,963,616円で
約39万人の子どもたちに1日分の
栄養たっぷりの給食を届けることができます。



あたたかいご支援をありがとうございます。



ご紹介)ルワンダの子どもたち

2009年撮影

10年後⇒

2019年撮影



【写真左】 ジャン・クラウドさん（右から2人目）、クラリスさん（同3人目）と在校生
【写真右】 10年前と同じ小学校で撮影

18歳になったクラリスさんは
「将来、音楽家になりたい」という夢を持っています。
20歳になったクラウドさんは
マカダミアナッツを作る会社で働いています。

学校給食支援で
元気に大きく育ち、未来を育んでいます

